契約法Ⅰ（総論）

科目ナンバリング　CIL-203
選択必修　　2単位

長谷川　成海

1. 授業の概要（ねらい）

私たちは現代社会において、契約の網の中で生活している。売買契約によって生活に必要な物品を購入し、電力供給契約によって電気製品を使用し、雇用契約によって労働して賃金を受け、旅客運送契約によって電車やバスに乗る。他方、社会全体から見れば、契約は商品流通、生産や資金調達など、経済活動を円滑に推進するために重要な役割を果たしている。

この授業では、契約の代表格とも言える売買の様々なケースを例に挙げながら、民法が定める契約に関する共通ルール（契約総則）を学ぶ。

なお、授業中に、授業内容を確認するための演習問題を適宜配布し、解く。

2. 授業の到達目標

①契約総則に関する基礎知識を習得する。
②契約諸類型のうち、売買を多く例に取り上げるので、これについても基礎的な理解を得ることとしたい。

3. 成績評価の方法および基準

LMSを利用した期末試験により（100%）評価する。問題内容は、授業中に解く演習問題をベースにする。詳細は授業中に確認する。

4. 教科書・参考文献

教科書
潮見佳男　『基本講義 債権各論Ⅰ　契約法・事務管理・不当利得　第3版』　新世社

5. 準備学修の内容

復習を中心に、授業でのノートを参考にしながら教科書を読んでもらいたい。さらに、授業中に解く演習問題をLMSにアップロードするので、こちらもきちんと理解したうえで、自力で正答を得られるように努めてもらいたい。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　契約自由の原則、双務契約の構造（1）
【第3回】　双務契約の構造（2）、契約プロセス
【第4回】　契約の成立（1）：意思表示
【第5回】　契約の成立（2）：申込と承諾
【第6回】　定型約款
【第7回】　同時履行の抗弁権
【第8回】　第三者のためにする契約
【第9回】　解除（1）
【第10回】　解除（2）
【第11回】　解除（3）、受領遅滞
【第12回】　危険負担
【第13回】　特定商取引法
【第14回】　消費者契約法
【第15回】　まとめ